

# 秋が　　きました

小川未明

青空文庫



にわの コスモスが、きれいに ききました。しずかな 秋<sup>あき</sup>の いい ひよりです。  
ピー、ピーと いう、ほそい ふえの 音<sup>おと</sup>が しました。  
「ラオの すげかえやが きたから、この きせるを たのんで おくれ。」  
と、おばあさんが おっしゃいました。

「はい。」

と いった、きよは うけとつて そとへ でました。  
しばらく して、きよは かえつて きました。

「いくら さがしましても、ラオやさんが みつかりません。」  
と いいました。

この とき、また ピー ピーと いう 音<sup>おと</sup>が しました。  
「あんなに きこえて いるでしょう。」

と、おばあさんは おっしゃいました。

「ぼくが さがして あげるよ。」

と、武<sup>たけ</sup>ちゃんは かけだしました。

武<sup>たけ</sup>ちゃんは、おうらいを あちらこちらと みまわしました。けれど、やはり わかりません。

「ラオやさんは どこに いるのだろう、ほんとうに おかしいな。」

と、武<sup>たけ</sup>ちゃん は ぼんやり たって いました。

空<sup>そら</sup>は 青<sup>あお</sup>く はれて いました。あの はこの ついた 車<sup>くるま</sup>を ひいて、おじいさんは

どこを あるいて いるのかと おもいました。

「武<sup>たけ</sup>ちゃん、やきゆうを しない？」

と、ふいに 年<sup>とし</sup>ちゃんが かたを たたきました。

「いま、これを うちへ おいて くるからね。」

と、武<sup>たけ</sup>ちゃんは こたえました。

「おばあさん、やはり いませんよ。」

と いうと、おばあさんは、

「ああ そうかい、秋<sup>あき</sup>だから 遠<sup>えんぽう</sup>方の 音<sup>おと</sup>が、ちかく きこえるのかも しれないね。」

と おつしやいました。

武<sup>たけ</sup>ちゃんは いそいで はらっぱへ いくと、もう みんなが あつまって いました。

正ちゃんしょうちゃんと 良ちゃんりょうちゃんは、あたらしい ユニホームを きて いました。

「さあ、はじめようか。」

と、ピッチャーの 正ちゃんしょうちゃんが プレートに たちました。そうして、たまを にぎった 手を たかく あげると、みんなが いっしよに ブー、と サイレンの まねを しました。その こえは、ほんとうの サイレンのように とおくまで ひびきました。これを ききつけて、あちからから、きみ子こさんと かね子こさんが とんで きました。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

初出：「コドモノクニ」

1938（昭和13）年10月

※表題は底本では、「秋《あき》が きました」となっています。

※初出時の表題は「秋ガ来マシタ」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られ

ました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 秋が きました

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>